

鋳工業指数参考図表集
(平成28年9月速報)

平成28年10月31日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年9月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.8	95.7	111.0	115.3
前月比	0.0%	1.1%	▲ 0.4%	1.5%
指数水準	—	H28.7 95.8以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.7 110.7以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.7 117.3以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	—	2か月ぶり+ (H28.7以来)	2か月ぶり▲ (H28.7以来)	2か月ぶり+ (H28.7以来)
前月比幅	—	H28.6 1.7%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H28.7 ▲2.4%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H28.5 1.8%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	0.9%	▲ 0.1%	▲ 2.0%	0.2%
前年同月比の動き	2か月連続+ (H28.8~当月)	2か月ぶり▲ (H28.7以来)	3か月連続▲ (H28.7~当月)	2か月ぶり+ (H28.7以来)
前年同月比幅	H28.8 4.5%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H28.7 ▲4.0%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H26.2 ▲3.2%以来 ①H21.12 ▲17.6% ②H22.1 ▲16.8% ③H21.11 ▲16.4%	H28.7 4.0%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

1) ▲はマイナス

2) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

平成28年9月の鉱工業生産の基調判断

「生産は緩やかな持ち直しの動き」

基調判断の推移

- ・平成26年9月～11月
「生産は一進一退」
- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月～平成28年7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～
「生産は緩やかな持ち直しの動き」

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成27年 Ⅲ期	97.0	▲1.0
Ⅳ期	97.1	0.1
平成28年 Ⅰ期	96.1	▲1.0
Ⅱ期	96.3	0.2
Ⅲ期	97.4	1.1
Ⅳ期	(100.0)	(2.7)

(注)

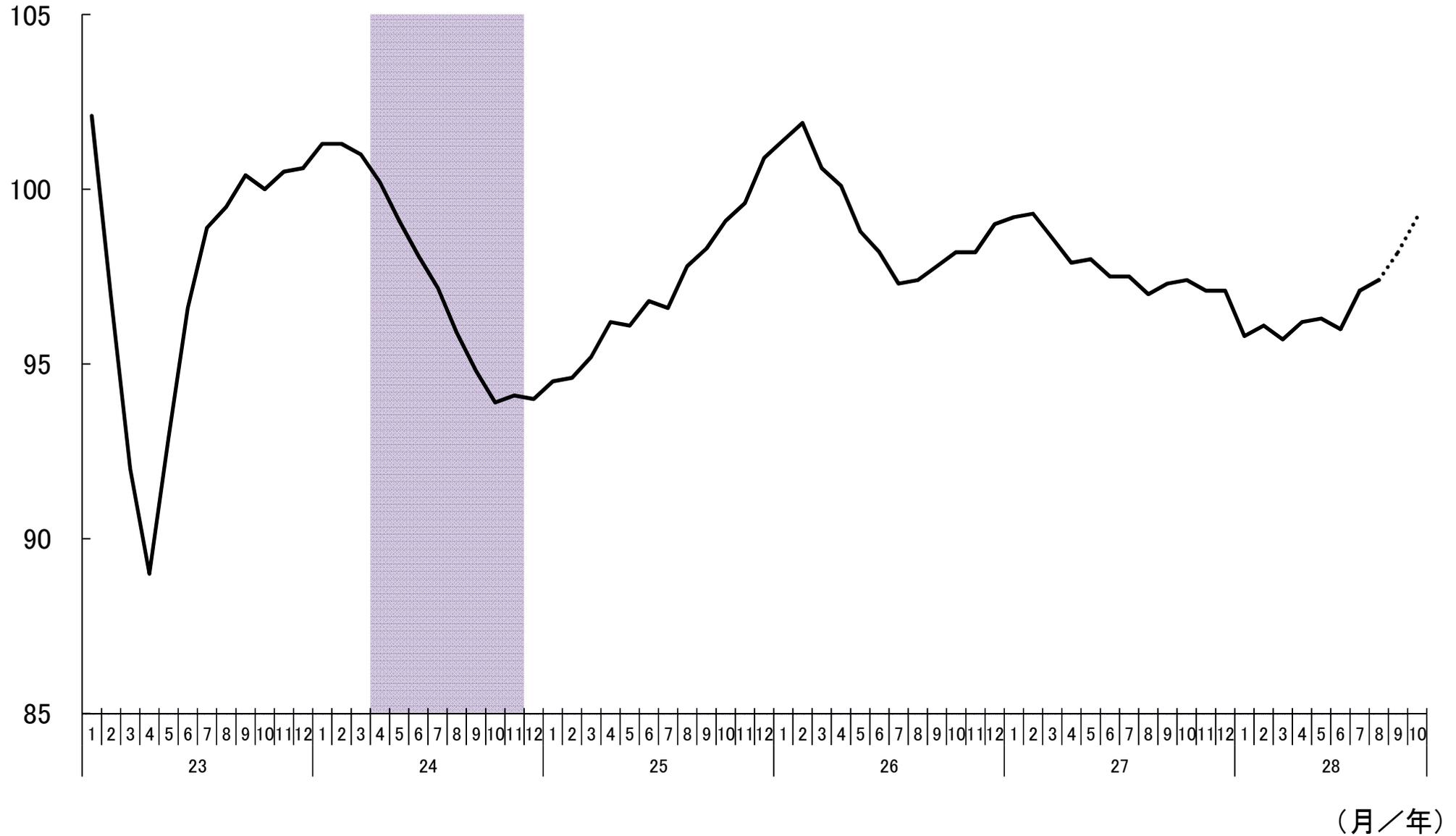
上記の平成28年Ⅳ期の()及び右表の平成28年9月、10月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したものの。

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前月比 (%)
平成26年 10月	98.2	0.4
11月	98.2	0.0
12月	99.0	0.8
平成27年 1月	99.2	0.2
2月	99.3	0.1
3月	98.6	▲0.7
4月	97.9	▲0.7
5月	98.0	0.1
6月	97.5	▲0.5
7月	97.5	0.0
8月	97.0	▲0.5
9月	97.3	0.3
10月	97.4	0.1
11月	97.1	▲0.3
12月	97.1	0.0
平成28年 1月	95.8	▲1.3
2月	96.1	0.3
3月	95.7	▲0.4
4月	96.2	0.5
5月	96.3	0.1
6月	96.0	▲0.3
7月	97.1	1.1
8月	97.4	0.3
9月	(98.2)	(0.8)
10月	(99.2)	(1.0)

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成28年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	3.7%	5219.7%pt
	品目	運搬機械	28.7%	1346.9%pt
		ボイラ・原動機	8.7%	750.7%pt
	2位の業種	輸送機械工業	2.6%	4972.2%pt
	品目	乗用車	5.3%	3818.5%pt
		自動車部品	2.6%	1758.8%pt
	3位の業種	化学工業（除.医薬品）	1.2%	1206.5%pt
	品目	石けん・合成洗剤・界面活性剤	7.1%	739.3%pt
		プラスチック	2.7%	390.7%pt
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 上昇方向へ引っ張った業種の上昇への影響度(寄与度)合計 <u>12348.2%pt</u> </div>				
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	情報通信機械工業	▲ 11.8%	▲3355.2%pt
	品目	電子計算機	▲ 13.2%	▲1776.8%pt
		民生用電子機械	▲ 8.5%	▲582.1%pt
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	▲ 2.7%	▲2128.4%pt
	品目	集積回路	▲ 4.6%	▲1433.2%pt
		半導体素子	▲ 13.0%	▲667.0%pt
	3位の業種	金属製品工業	▲ 3.9%	▲1463.4%pt
	品目	建設用金属製品	▲ 15.0%	▲974.2%pt
		その他の金属製品	▲ 1.8%	▲279.8%pt
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 低下方向へ引っ張った業種の低下への影響度(寄与度)合計 <u>▲9828.8%pt</u> </div>				

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成28年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	5.3%	3818.5%pt
	2位	自動車部品	2.6%	1758.8%pt
	3位	運搬機械	28.7%	1346.9%pt
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	民生用電気機械	▲13.2%	▲1811.5%pt
	2位	電子計算機	▲13.2%	▲1776.8%pt
	3位	集積回路	▲4.6%	▲1433.2%pt

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	2.1%	3202.8%pt
		半導体製造装置	8.6%	1656.6%pt
		クレーン	84.4%	719.2%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.4%	2020.2%pt
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	19.7%	1623.6%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	6.4%	1458.7%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	0.5%	478.1%pt
		普通乗用車	3.3%	1560.6%pt
		軽乗用車	11.5%	721.6%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	▲0.3%	▲401.9%pt
		モイスチャークリーム	▲14.3%	▲547.6%pt
		システムキッチン	▲6.7%	▲366.3%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲2.8%	▲1522.0%pt
		橋りょう	▲24.9%	▲678.4%pt
		プラスチック製パイプ	▲11.4%	▲150.0%pt

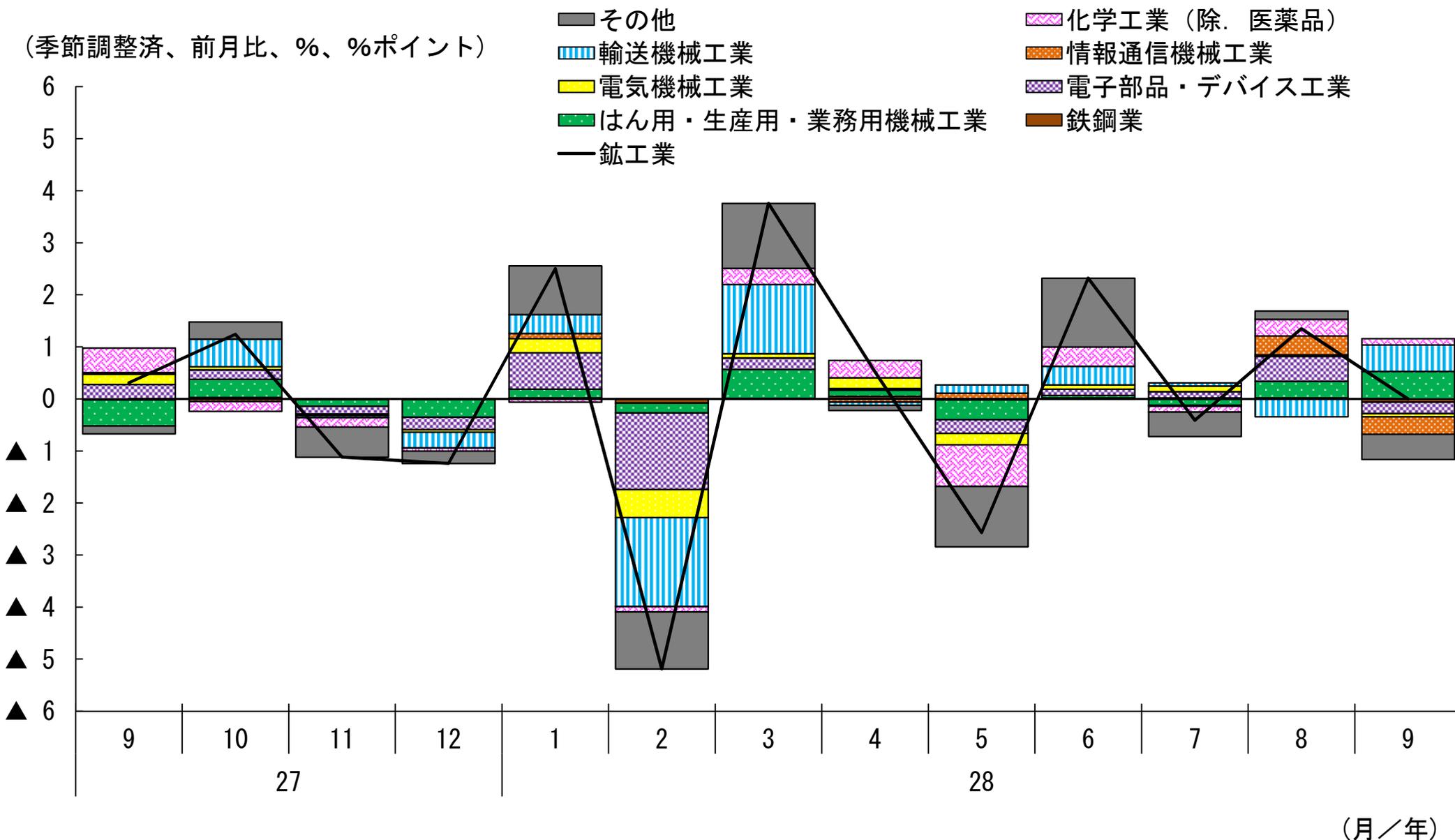
寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

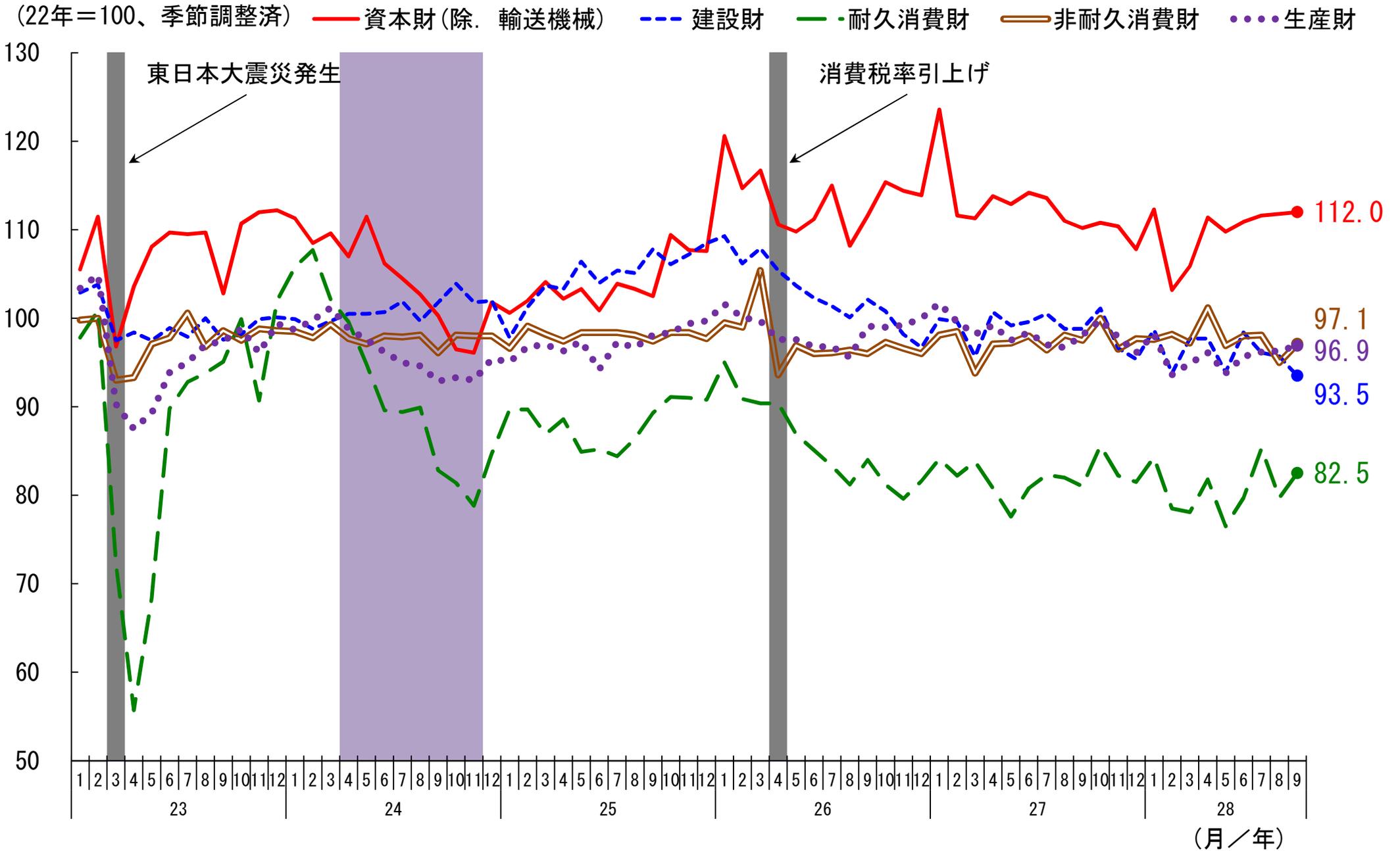
鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年9月の生産指数は、情報通信機械工業などが低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇し、全体としては前月比0.0%の横ばい。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



財別出荷指数の動向



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

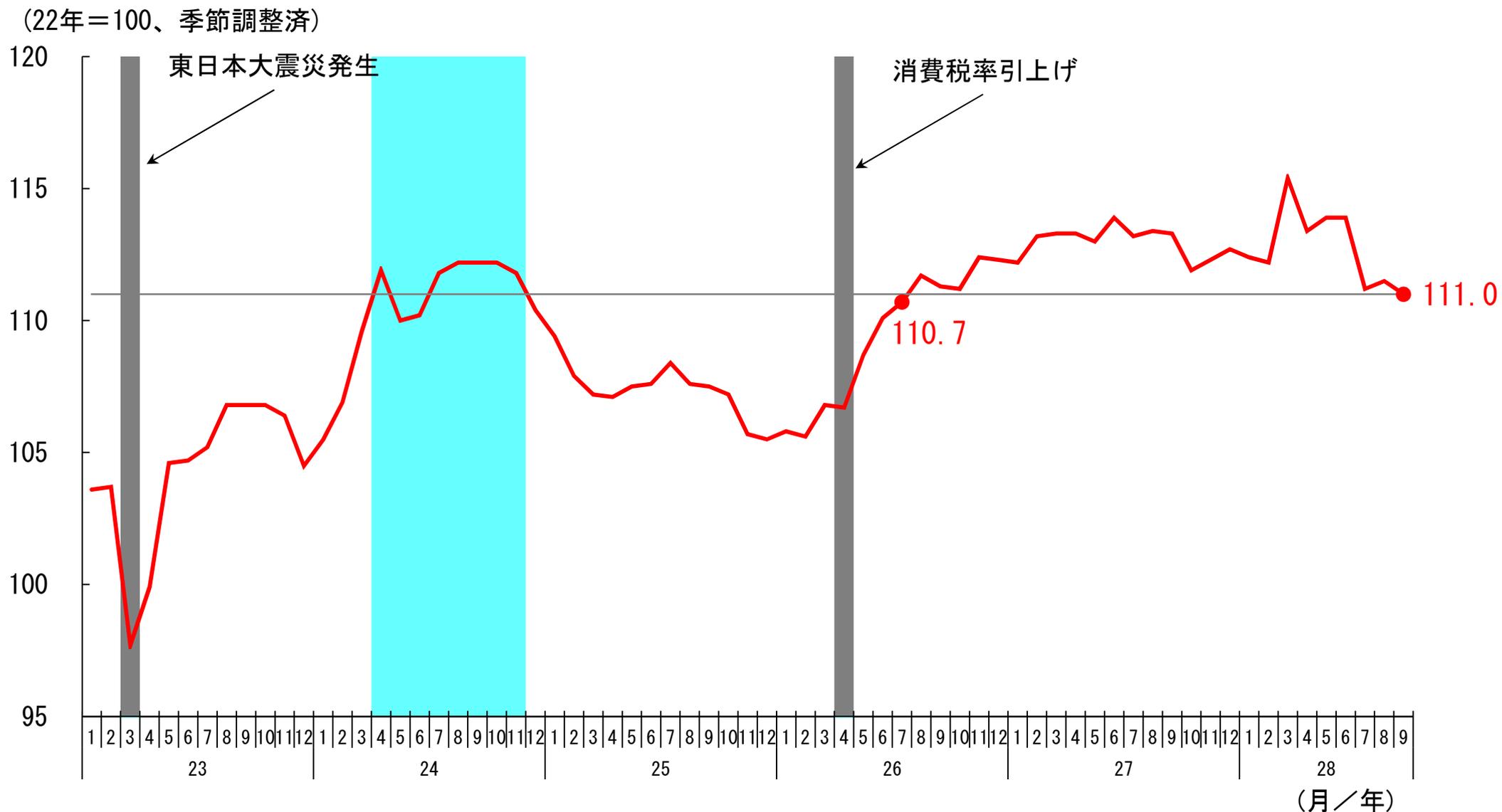
平成28年9月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	3.5%	42.6%
		普通乗用車	5.1%	32.7%
		小型乗用車	9.6%	14.1%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.6%	30.2%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	20.6%	22.2%
		駆動伝導・操縦装置部品	6.3%	13.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.2%	24.5%
		美容液	28.6%	6.1%
		化粧水	20.4%	4.5%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	0.2%	2.4%
		半導体製造装置	7.1%	10.9%
		マシニングセンタ	20.5%	6.7%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 2.3%	▲ 12.1%
		橋りょう	▲ 23.5%	▲ 5.3%
		プラスチック製パイプ	▲ 14.9%	▲ 1.6%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

鉱工業在庫指数の動向

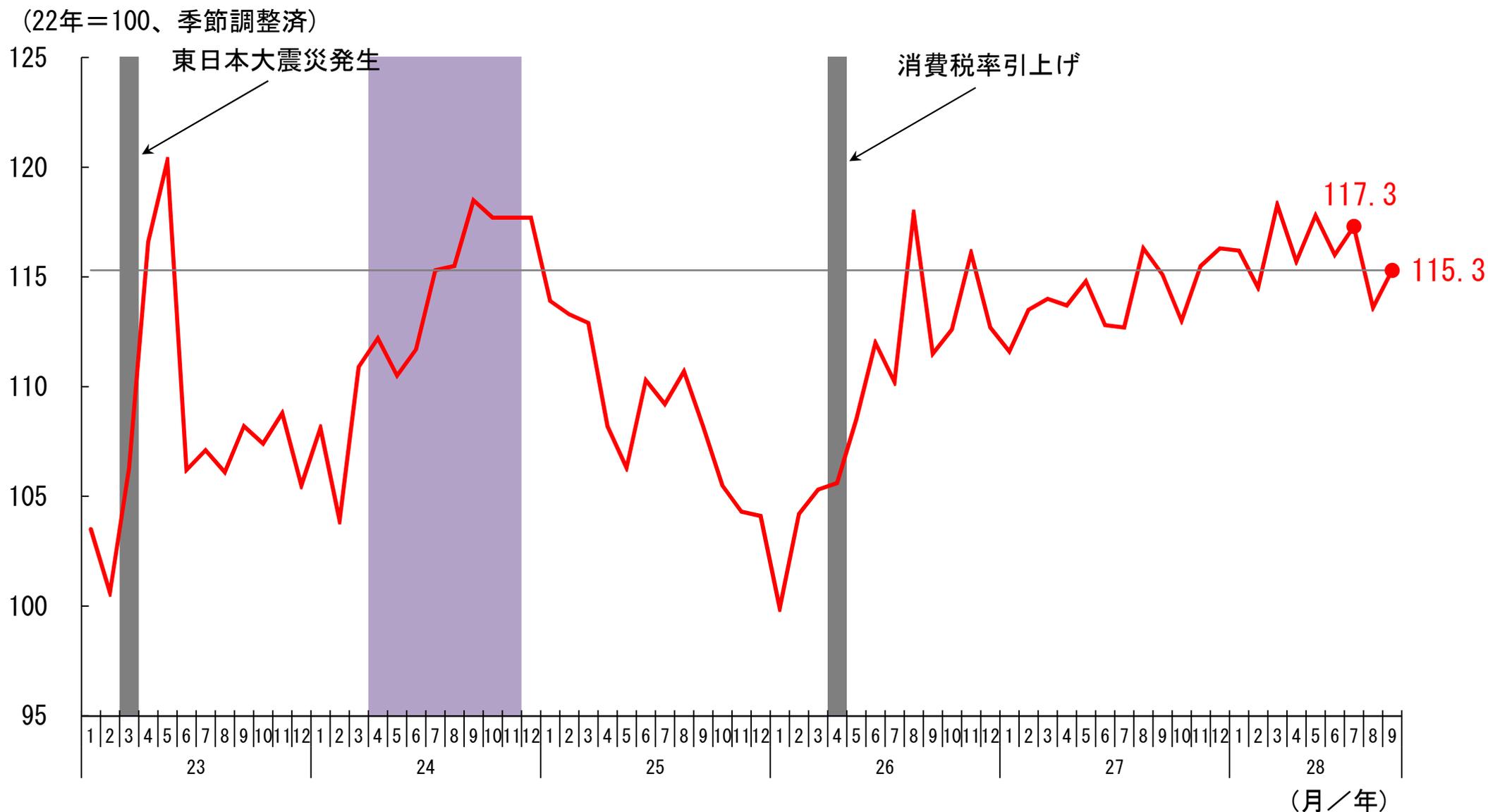
- 平成28年9月の在庫指数は、111.0(前月比▲0.4%)と2か月ぶりの低下。
- 平成26年7月の110.7以来の指数水準。



(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

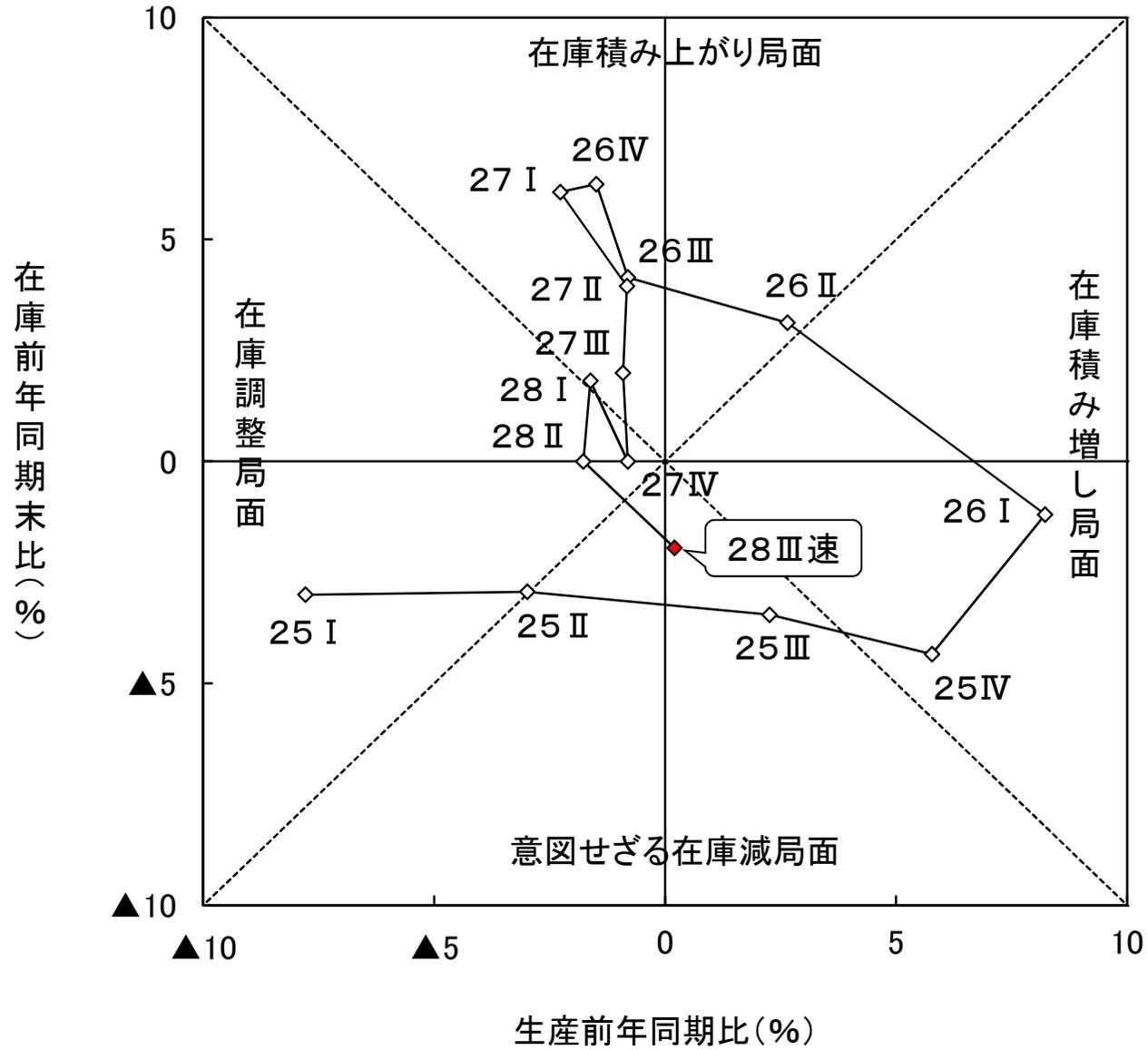
鋳工業在庫率指数の動向

- ・平成28年9月の在庫率指数は、115.3(前月比1.5%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年7月の117.3以来の指数水準。



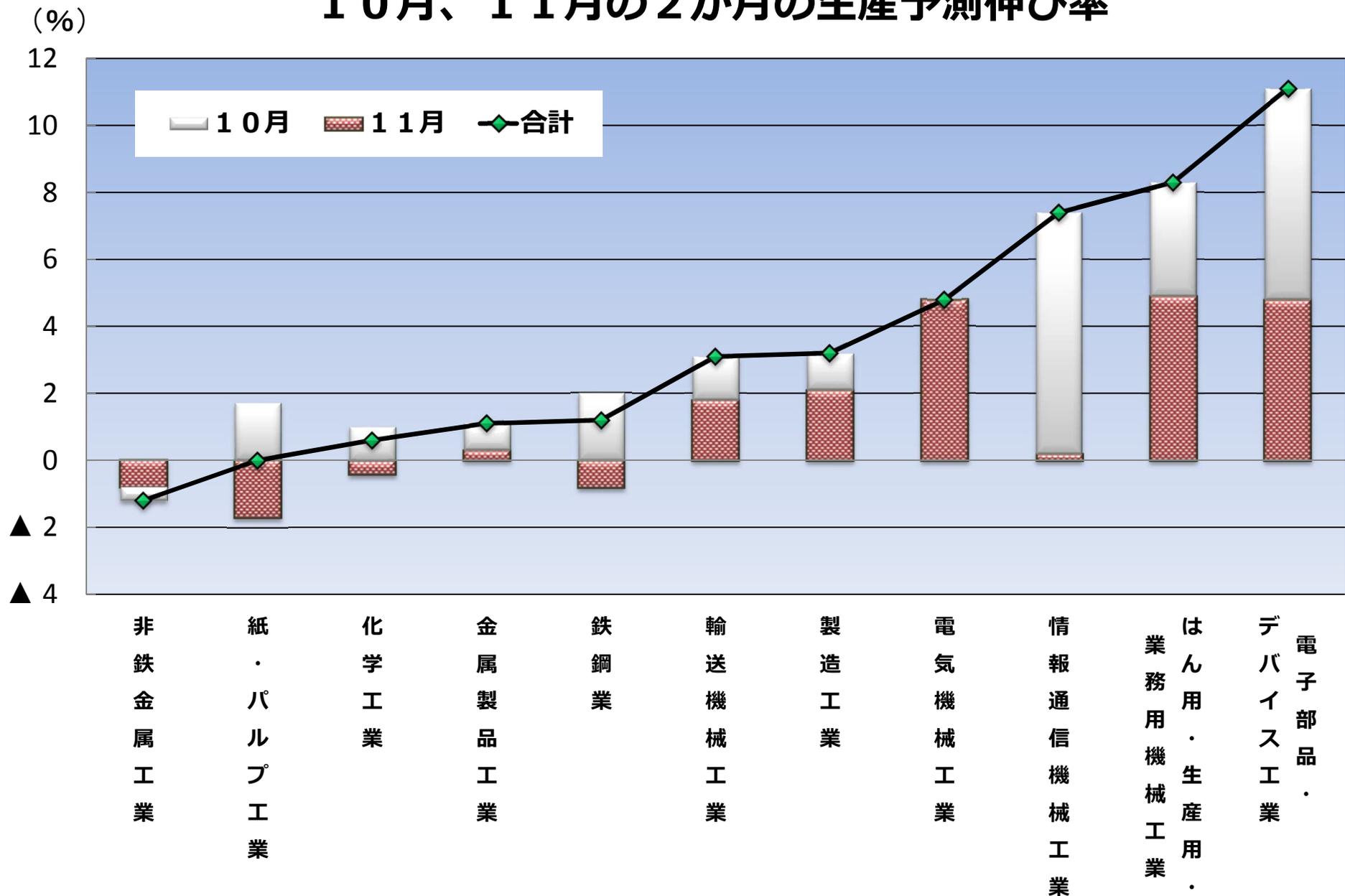
(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



製造工業生産予測指数

10月、11月の2か月の生産予測伸び率



平成28年7-9月期の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.4	95.4	111.0	115.4
前期比	1.1%	0.5%	▲ 2.5%	▲ 0.9%
指数水準	H27Ⅱ 98.0以来 ⅠH20Ⅰ 116.8 ⅡH20Ⅱ 114.8 ⅢH20Ⅲ 110.5	H27Ⅳ 96.6以来 ⅠH20Ⅰ 118.2 ⅡH20Ⅱ 115.0 ⅢH20Ⅲ 109.4	H26Ⅱ 110.1以来 ①H23Ⅰ 97.7 ②H21Ⅳ, H22Ⅲ 99.1 ③H22Ⅰ 99.6	H27Ⅳ 114.9以来 ①H20Ⅰ 96.8 ②H22Ⅲ 97.9 ③H20Ⅱ 98.1
前期比の動き	2期連続+ (H28Ⅱ～当期)	2期連続+ (H28Ⅱ～当期)	2期連続▲ (H28Ⅱ～当期)	6期ぶり▲ (H27Ⅰ以来)
前期比幅	H27Ⅰ 1.1%以来 (超)H26Ⅰ 2.3%以来 ⅠH21Ⅳ, H23Ⅲ 7.1% ⅡH21Ⅲ 6.1% ⅢH21Ⅱ 5.3%	H27Ⅰ 0.7%以来 ⅠH23Ⅲ 9.0% ⅡH21Ⅳ 7.7% ⅢH21Ⅲ 6.3%	H25Ⅰ ▲2.9%以来 ①H21Ⅰ ▲7.2% ②H21Ⅱ ▲5.9% ③H23Ⅰ ▲4.2%	H26Ⅰ ▲1.4%以来 ①H21Ⅱ ▲12.1% ②H21Ⅲ ▲11.7% ③H21Ⅳ ▲8.4%
前年同期比(原指数)	0.2%	▲ 0.9%	▲ 2.0%	0.4%
前年同期比の動き	9期ぶり+ (H26Ⅱ以来)	9期連続▲ (H26Ⅲ～当期)	10期ぶり▲ (H26Ⅰ以来)	10期連続+ (H26Ⅱ～当期)
前年同期比幅	H26Ⅱ 2.7%以来 ⅠH22Ⅰ 24.8% ⅡH22Ⅱ 19.7% ⅢH22Ⅲ 14.6%	H28Ⅱ ▲2.0%以来 ①H21Ⅰ ▲33.1% ②H21Ⅱ ▲27.7% ③H21Ⅲ ▲19.2%	H25Ⅳ ▲4.3%以来 ①H21Ⅳ ▲17.6% ②H21Ⅲ ▲12.4% ③H22Ⅰ ▲10.5%	H28Ⅱ 2.4%以来 ⅠH21Ⅰ 56.2% ⅡH21Ⅱ 35.6% ⅢH23Ⅱ 16.5%

1) ▲はマイナス

2) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年7-9月期の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前期比1.1%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

